

石川北



自衛隊の慰問演奏に聞き入る被災者。20日午前10時半、穴水町のとふれあい文化センター

穴水町のとふれあい文化センターでは、隊員7人が「とんりのトトロ」「糸」「花

慰問演奏 心身癒やす

陸上自衛隊第3師団(兵庫)の第3音楽隊による慰問演奏は20日、穴水町と志賀町で行われた。隊員が心を込めて美しい音色を響かせ、長引く避難生活で疲弊した住民の心身を癒やした。

松田淳子1等陸曹(51)は「被災者の皆さんが少しでも元気になれるよう心を込めて演奏した」と語った。

慰問演奏 心身癒やす

「恩返し」避難所で散髪

珠洲・折戸町「日置ハウス」

移住の美容師ボランティア 吉井さん

能登半島地震で避難所となった珠洲市折戸町の滞在交流施設「日置ハウス」で、同町の美容師吉井謙太さん(46)が避難した住民の髪を整えている。外浦の美しい海に引かれ、骨を埋めるつもりで移住した吉井さんは「お世話になってきた皆さんに恩返しをしたい」と、ボランティアを始めた。避難生活が続く住民からは気分転換になると喜ばれている。

金沢出身の吉井さんは若い頃からボランティアで散髪を始めた。日置ハウスの通路の一角に大何度も珠洲に足を運ぶうち、外浦の海と椅子を置き、18日は午前中に3人がカットに訪れた。1日から避難生活を送る紺佳代子さん(50)は「髪がきれいになって、気分もさっぱりした」と笑顔を見せた。避難所の責任者



地震発生時は県外にいたが、自宅を兼ねた店に戻ると、建物は地割れで傾き、雨水が入って店内も水浸しになり、機材の一部はさびていた。愛用のはさみは手元にあつたため、自身の技能を地域のために役立てたいと



被災住民「気分さっぱり」

を務める折戸町区長の中市多喜夫さん(77)は「移住者が頑張ってくれてありがたい。大助かりや」と感謝した。吉井さんの取り組みに取引のあるシャンプーやタオル、機材を扱う複数の企業が協力するなど善意の輪が広がっている。吉井さんは「住民の悲しみを少しでも軽くし、前向きな気持ちになってほしい。できる限りボランティアを続けたい」と話した。

避難者の髪を切る吉井さん。18日、珠洲市折戸町の日置ハウス

避難所に加工材 棚やげた箱に活用

七尾市産業振興協会、県木材産業振興協会は、七尾市の避難所となっている矢田郷地区コミュニティセンターに、組み合わせて自由に家具を作ることができ加工木材「組手仕」約2千本を寄贈した。

1本が約2分の細長い木の板に複数の切れ込みが入っており、組み合わせやすい。同センターでは棚やげた箱として活用している。協会の理事を務めるフルタニランバ(金沢市)の古谷隆明社長は「木のぬくもりを感じて、少しでも安らかな気持ちになってほしい」と話した。今後必要なら避難所に寄贈する。



寄贈された組手仕で作られた棚。七尾市矢田郷地区コミュニティセンター

「優勝で元気届けたい」

和倉の黒川さん 料理人大会で上位5人



避難所では毎日炊き出し

最終審査は2月内で行われる。避難所では和倉の食店の従業員と協力をし、日メニューを変え審査を控える中でいく予定で「自分ごと」と意識込んだ

和倉の黒川さん 料理人大会で上位5人

炊き出しの準備をする黒川さん(右)。20日、七尾市田鶴浜地区コミュニティセンター

自警団が夜間パトロール

内灘宮坂区 「被災地泥棒を撲滅」

内灘町宮坂区は、地震に便乗した被災地の犯罪抑止に向け、自警団を組織した。団員が交代で夜間にパトロールしており、地域の犯罪に目を光らせている。団員は約30人で、深夜に



区内をパトロールする自警団。内灘町宮坂区

3人前後のグループを巡回して、夜は団員3人がパトロール。車で宮坂公民館慣れぬ車や不審か警戒した。公雅之館長(53)は「棒の撲滅へ、していきたい」